

Raymond Academy

レイモンド学園だより No.52

2025 年 3 月

2025 年 2 月 25 日チャペル「自信がある」

伊東 献仁

天の父なる神様は、人間の親と同じように、自分の愛する子どもたちが自分自身を好きになることを望んでおられます。そしてそれが、人の自分勝手な思いこみではなく、神様が正しいとされる方法に従って、そうなるように望んでおられます。神様の価値観は、移ろいやすいこの世の価値観と違って、確かに意義深いものです。人間的な視点で見た場合、私たちは、次のようなものに価値があると考えます。

・容姿端麗・優秀な頭脳・健康で強靱な肉体・洗練された身のこなし・芸術的才能・裕福な生活・各分野での高い能力・趣味や娯楽・権力や知名度、等。

人は、これらを持つことで自分に自信を持ったり、幸せになったりできると考えがちです。しかし、これらについて、今一度、よく考えたいと思います。これらは表面的で長続きせず、人を誤らせる価値観だからです。ルックス・能力・経済力、このような風潮の世の中で生きている私たちは、コロコロと勝手に変わるこの世の「型」に上手にはまれるかどうかによって、自分に自信を持つようになり、失望したりします。ずっと自分を好きでいられるかどうかは、「何に価値があると考えるか」によって決まります。

では、この世が「良し」としている価値を、いつも批判すべきなのでしょうか。そうではありません。この世の価値には、それなりの意味があります。財産や外見、能力や影響力などを評価することが、神様の視点から見て適切である場合もあります。私たちは、神様が与えてくださったものを用いて最善を尽くすべきです。身なりを整え、服装のコーディネートに気を配ることには、それなりの価値があります。そうすることで、自分に自信を持つことは、限定的ですが、可能です。

では、自信を持って生きるために本当に必要なものは何でしょうか。聖書に、神様が預言者サムエルに、イスラエルの次期国王について、サウル王の後継者について語られる場面があります。

(I サムエル 16 : 6~13)

神様は、「有望な候補者」についてこうおっしゃいました。

「彼の容貌や背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、主は心を見る。」(I サムエル 16 : 7)

しかし、神様は心の内をご覧になると書かれたすぐあとに、国王として油注がれたダビデについて、次のように記しています。

「彼は血色が良く、目が美しく、姿も立派だった。」(I サムエル 16 : 12)

神様が目を留められるのは人の心ですが、神様は現実的なお方でもあるので、人間が重要だと考えることも考慮されたようです。人は、うわべを見るもの、うわべで判断するものであることをわきまえて、身なりを整えることは大切です。私たちは、このような神様の基本原則に基づいて、自分に自信を持つことができます。

預言者エレミヤは、試練に遭って死の危険に直面していた人々にこう言いました。

「——主はこう言われる——知恵ある者は自分の知恵を誇るな。力ある者は自分の力を誇るな。富ある者は自分の富を誇るな。誇る者は、ただ、これを誇れ。悟りを得て、わたしを知っていることを。わたしは主であり、地に恵みと公正と正義を行う者であるからだ。まことに、わたしはこれらのことを喜ぶ。——主のことば。』」(エレミヤ 9 : 23、24)

<神様の視点チェック>

- ① あなたを動かしているのは、損得勘定ですか。それとも、「これが正しい」という信念ですか。
- ② 大切なのは、人からの評価ですか。それとも、誰も見ていなくても、正しい行いをするかどうか。
- ③ 人から何かを得ることに心を向けていますか。それとも、自分は何を与えられるだろうか、ということに心を砕いていますか。
- ④ 周りの状況に、左右されますか。それとも、自分の人生を導くしっかりとした原理原則や指針を心に持っていて、どのような状況でも人生の目的を失わず堂々と生きていますか。

このような内面性の違いが、自分で自分を見る目を決定づけます。そして、その内面の世界が神様によって造られたかどうか、最も大きな問題です。神様に人格を形成していただくためには、何をすればよいのでしょうか。

使徒パウロは、ローマ人への手紙の中で、健全なセルフイメージは、神様との質の高い信頼関係によって形成されると述べています。ローマ人への手紙 12 章は、神様の視点による健全なセルフイメージを形成するための秘訣を記しています。

「ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。[ステップ 1] あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたさげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。[ステップ 2] この世と調子を合わせてはいけません。[ステップ 3] むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。[その結果] そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。」(ローマ 12: 1~2)

(ステップ 1) 自分の権利を放棄して神様に信頼し、神様に従う。

(ステップ 2) この世的な価値観に染まらないように抵抗し続ける。

(ステップ 3) 神様のみことばと神様の御心を学んで、自分の心を刷新し続ける。

これら 3 つのステップに従えば、神様の視点で自分自身を見ることが出来ます。

その続きには、神様に自らを献げた人の態度が語られていきます (12: 3~21)。このような原則に従って生きるならば、自分の内面性についても外での言動についても自尊心をもつことができます。パウロは、彼の手紙の読者たちが、世間の悪に押しつぶされてしまうのではなく、善をもって悪に打ち勝つようと、常に励ましています (12: 21)。主にあって正しい健全な自信を持って、世の光、地の塩となっていきましょう。

[報告]

2月6日(木) Mr. Azael お別れ会

昨年 8 月にメキシコのグアダラハラから来日し、半年間、レイモンド学園で奉仕してくださった Mr. Azael のお別れ会のために、みんなでボーリングにでかけました。4 チームに分かれての勝負では、ボーリングがとても得意な Mr. Azael が見事優勝しました。この半年間、忠実に誠実に奉仕してくださった Mr. Azael に心から感謝します。帰国後はグアダラハラの ACE スクールでスーパーバイザーとして奉仕した後、大学へ進学される予定です。Mr. Azael のこれからの歩みを神様が豊かに祝福してくださるようお祈りください。



2月28日（金）Quarterly Tirip in 日本科学未来館

4学期の全員遠足は東京都江東区にある日本科学未来館でした。日本の科学技術について学んだり、ドームシアターで宇宙についての映画を見たりしました。お天気も良く、楽しいひと時となりました。



3月7日（金）2024 年度修了式

2024 年度も神様に守られ、祝福と恵みをたくさんいただき、無事に修了式の日を迎えることができました。背後のお祈りとお支えに心から感謝いたします。式では教師、生徒全員で「On Eagle's Wings」を合唱しました。また、今年度をもって佐藤帆南さんと帆希さんが転校することとなりました。お別れするのはとてもさびしいですが、お二人の歩まれる道が神様によって祝福されますようお祈りください。



3月17日（月）～21日（金）Supervisors' Training

今年で17回目となるACE スーパーバイザーズ・トレーニングには7名の方が参加されました。お一人一人が熱心に学ばれていました。背後のお祈りと食事作りのご奉仕に心から感謝いたします。



特別活動の様子

4学期の特別活動は、川崎教会から角皆姉が講師となってくださり、Art クラスの時間を持ちました。7回の授業では、三原色の学び、写し絵、クレヨン画、デッサン、切り絵、紙粘土工作等に取り組みました。生徒一人一人が熱心に講義に耳を傾け、作品作りに没頭しました。



伊東博子先生退職

10年間にわたり、レイモンド学園の書道クラスをご指導くださった伊東博子先生が今年度をもって退職されることになりました。常に愛と熱意をもってひとりひとりご指導くださった先生に心から感謝申し上げます。



【お祈りと支援のお願い】

日頃より学園の活動のためにお祈りとご協力を賜り感謝申し上げます。
様々な活動により生徒と共に充実した学園生活となるよう励みます。

支援献金振込先

郵便振替 00230-8-38999 レイモンド学園 伊東献仁

神様の祝福を皆様の上に心よりお祈り申し上げます。